

表 内容「B 生物育成の技術」学習活動に即した評価規準の検討例

【A】 分野目標	評価の観点	【B】 評価の観点の趣旨	項目	【C】 学習指導要領の内容	【D】 内容のまとめりごとの評価規準(例)	【E】 学習指導要領解説を基にして内容のまとめりごとの評価規準(例)に細分化した例	【F】 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」事例1 学習活動に即した評価規準の例
<p>技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p>	知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	(1)	ア 育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。	・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。	<p>・作物、動物及び水産生物の成長、生態についての科学的な原理・法則を理解している。</p> <p>・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解している。</p>	①作物、動物及び水産生物の成長、生態などについての科学的な原理・法則を説明できる。
			(2)	ア 安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができること。	・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身に付けている。	・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身に付けている。	②生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。
			(3)	ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、生物育成の技術の概念を理解すること。	・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、生物育成の技術の概念を理解している。	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた生物育成の技術の概念を理解している。	⑦育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。
<p>(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善する力などを養う。</p>	思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	(1)	イ 生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えること。	・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	f 生物の育成環境を調節する方法等の技術が、社会からの要求、作物等を育成・消費する際の安全性、生産の仕組み、品質・収量等の効率、環境への負荷、経済性、生命倫理等に留意し、育成する生物の成長、働き、生態の特性等にも配慮して、最適化されてきたことに気付く力を身に付けている。	③生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことに気付くことができる。
			(2)	イ 問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。	・問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	<p>h 生活や社会の中から生物の育成環境の調節等に関わる問題を見いだして課題を設定する力を身に付けている。</p> <p>i 課題の解決策を、条件を踏まえて構想し、作業計画表等に表す力を身に付けている。</p> <p>j 試作等を通じて解決策を具体化する力を身に付けている。</p> <p>k 計画に基づく合理的な解決作業について考える力を身に付けている。</p> <p>l 課題の解決結果や解決過程を評価、改善及び修正する力を身に付けている。</p>	⑤生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関する課題を設定できる。 ⑥課題の解決策を条件を踏まえて構想し、育成計画表等に表すことができる。
			(3)	イ 生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。	・生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	<p>・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりする力を身に付けている。</p>	⑧育成計画に基づき、記録したデータと作物の生育状況とを比べながら、合理的な解決作業を決定できる。 ⑨自らの問題解決の工夫を、生物育成の技術の見方・考え方に照らして整理するとともに、課題の解決結果を記録したデータに基づいて評価する。
<p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>	主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。	(1)		・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。	o 進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	④進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
			(2)	<内容の取扱い> 知的財産を創造、保護及び活用しようとする態度、技術に関わる倫理観、並びに他者と協働して粘り強く物事を前に進める態度を養うこと。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	<p>p 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。</p> <p>(q 知的財産を創造、保護及び活用しようとしている。)</p> <p>r 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。</p> <p>(s 他者と協働して粘り強く物事を前に進めようとしている。)</p>	⑩自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。
			(3)		・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。	t よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。	⑪自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
							⑫これまでの学習を踏まえ、生物育成の技術の役割や影響、最適化について説明できる。